

第37期第11回理事会議事録

日 時：2013年12月25日（水）13時30分～16時40分

会 場：ちよだプラットフォームスクウェア 402会議室（東京都千代田区）

出席理事：新野，藤谷，岩崎，経田，佐藤（正），田中*，中島，中村（健），中村（尚），
平井，廣岡，藤部，三上，以上13名

Web会議システムを通じた出席理事：竹見，長谷部*，余田，以上3名

*：議題3の途中から出席

（理事現在数20名）

その他の出席者：田沢（事務局）

議 題

1. 第37期第10回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会員10，退会77を全会一致で承認。2013年12月20日現在，会員数3,619名で個人会員は3,361名。

3. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：Robert A. Houze, Jr. (University of Washington)

転載元：Fig. 4:Asai, T., 1972:Thermal instability of a shear flow turning direction with height, J. Meteor. Soc. Japan, Vol.50, 525- 532.

Fig. 2:Houze, R. A., Jr., 1982:Cloud clusters and large-scale vertical motions in the tropics, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 60, 396-410.

転載先：The revised edition of Cloud Dynamics(Academic Press 1993).

②申請者：株式会社日本評論社

転載元：「疑似周期について」伏見康治：1934，気象集誌第Ⅱ輯，Vol. 12, 300-316

転載先：「伏見康治コレクション 別巻 論文集」

③申請者：伊藤耕介（海洋研究開発機構）

転載元：Figs. 3, 12, 17 and 20:Kawabata, T., M. Kunii, K. Bessho, T. Nakazawa, 2012:

Reanalysis and Reforecast of Typhoon Vera (1959) using a Mesoscale

Four-Dimensional Variational Assimilation

System, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90, 467-491

・第1図：北嶋尚子，2011：Cyclone Phase Space（低気圧位相空間），新用語解説，天気 Vol. 58, 801-803

・第3図：石島英・セルバンドナタニエル・宜野座亮，2006：北太平洋西部海域におけるバイナリー台風の出現性と経路モードの特徴について，天気，Vol. 53, 467-478.

転載先：『気象学の新潮流—台風（仮題）』

筆保弘徳・伊藤耕介・山口宗彦著，朝倉書店発行

④申請者：藤田慎一（電力中央研究所）

転載元：図 3. 2, 図 4. 6, 図 5. 7, 図 5. 8：気象研究ノート第 142 号，エアロゾル特集—基礎

編一

転載先：「越境大気汚染の物理と化学（仮称）」，藤田慎一他著，成山堂書店発行

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：雷サミット 13

主催：雷文化都市構築推進委員会

期日：2014年1月18日

場所：鶴岡市先端研究産業支援センター

名義：後援

②名称：第51回アイソトープ・放射線研究発表会

主催：日本アイソトープ協会

期日：2014年7月7日～9日

場所：東京大学弥生講堂

名義：共催

③名称：第16回流れの可視化に関する国際会議

主催：一般社団法人 可視化情報学会

期日：2014年6月24日～28日

場所：沖縄コンベンションセンター

名義：協賛

3) 各委員会・研究連絡会の英名称掲示の検討結果が報告された。各委員会・研究連絡会などの構成を示す学会紹介の組織図として掲載することを了承した。

4) その他

①会員登録情報としての電子メールアドレスの登録状況の報告。

②11月29日：内閣府から冬季節電要請

③12月13日：第38期役員選挙立候補受付開始（1月14日締切）

会計…2013年12月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol. 60 No. 12（2013年12月号）の掲載記事と，Vol. 61 No. 1, 2（2014年1, 2月号）の予定記事の報告。

気象集誌…Vol. 92 No. 1の掲載記事の報告。

・気象集誌関連のアナウンスやニュースの発信強化のため，HPとフェイスブックページを開設したことが報告された。ソーシャル・ネットワーキング・サービスの移り変わりには注視しているとの説明があった。

気象研究ノート…第229号「高層気象観測の発展と現状」が2014年1月に刊行予定との報告。

SOLA…2013年の投稿論文数と受理論文数についての報告。掲載数は昨年より少ないとの説明があった。

講演企画…2014年度春季大会の準備状況の報告。

・将来の電子情報に必要なサービスの検討を行ったことが報告された。委員会内の検討結果は学会サーバと会員アカウントに関するワーキンググループに報告するとした。

企画調整…藤谷理事より，出版社から地球温暖化関連の書籍を出版する件について，公益認定等委員会に公益事業として認定されるかどうかを問い合わせしていたところ、

出版によって利益等が得られないことから、公益事業として特段の問題は生じないとの回答があった。今後の出版事業等の実施を考慮し、現在の刊行事業に、新たに「一般向け啓発図書の刊行」を追加することとなった。当該項目の追加は、公益認定等委員会への変更届出で対応可能である。これを受けて、出版事業への費用負担が可能となった。

- ・藤谷理事より、第37期の第2回支部長会議及び第2回評議員会の開催に関連して、第1回会議で示された課題への対応等について説明と、担当理事への作業依頼があった。

学術…報告書「日本の気象学の現状と展望」が最終確認中であることの報告。

教育と普及…第47回夏季大学の実施報告をまとめ、「天気」12月号の記事としたことが報告された。

- ・来年度の公開気象講演会及び夏季大学の準備状況についての報告。テーマはそれぞれ局地風と竜巻にする予定との説明があった。

表彰…新賞の表彰対象に関する意見が会員から寄せられているとの報告。表彰対象を広く周知するため、各選定規程のリンクを学会HPの表彰ページに設けることとした。

- ・岩崎理事より、岸保賞の副賞メダル図案の選定結果が報告された。最終的にはメダル作成業者の意向も踏まえたもので確定するとの説明があった。

- ・正野賞の副賞メダル図案の選定結果の報告。

- ・中村健治理事より、藤原賞の推薦状況について報告があった。

- ・中島理事より、名誉会員推薦委員会の検討結果として推薦数を4名程度とする計画が報告され、了解した。

気象研究コンソーシアム…提供データ内容変更も含めたHP掲載情報の充実を図ったことの報告。

国際学術交流…第6回日中韓合同気象学会について、「天気」への開催報告記事とビジネスミーティングのメモに関する進捗状況の報告。

- ・日中韓合同気象学会の日本開催の検討結果が報告された。JpGUの国際セッションとして開催することの提案と今後の進め方の説明があり、委員会提案を了承した。

電子情報…学会サーバと会員アカウントに関するワーキンググループの開催報告。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。発売予定時期の2014年春に向けて順調に進んでいることが説明された。

気象災害…「2013年7・8月豪雨災害に関する研究会」の実施報告を取りまとめ中であり、速やかに「天気」に投稿するとの報告。

人材育成・男女共同参画…労働契約法改正に伴う問題に関する提言の準備状況の報告。

4. その他

中島理事より、日本学術会議の動向が報告された。関連委員会の委員推薦時期になっているとの説明があった。

平成26年1月29日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏